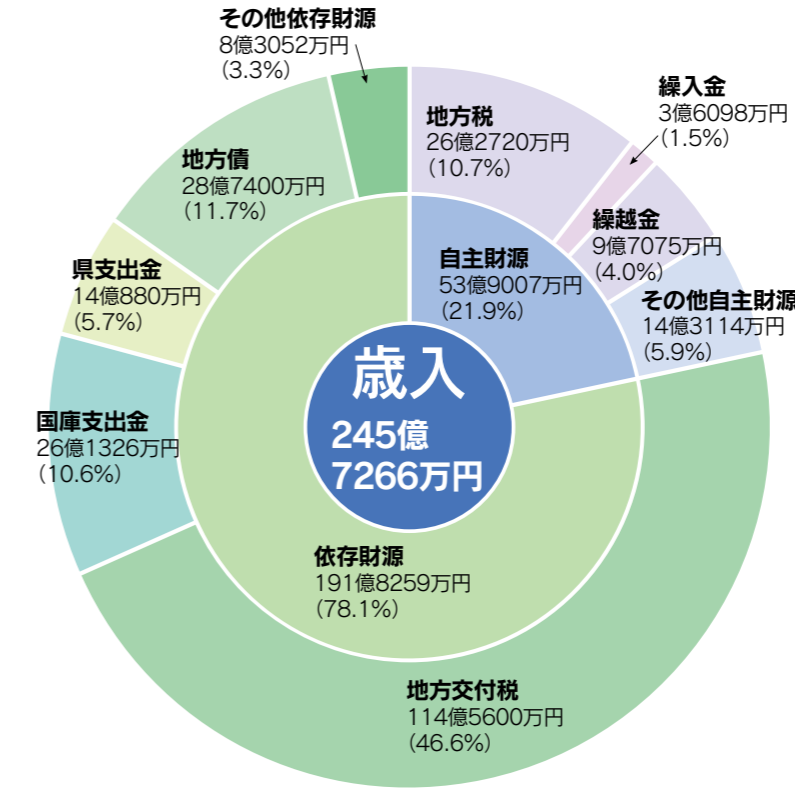
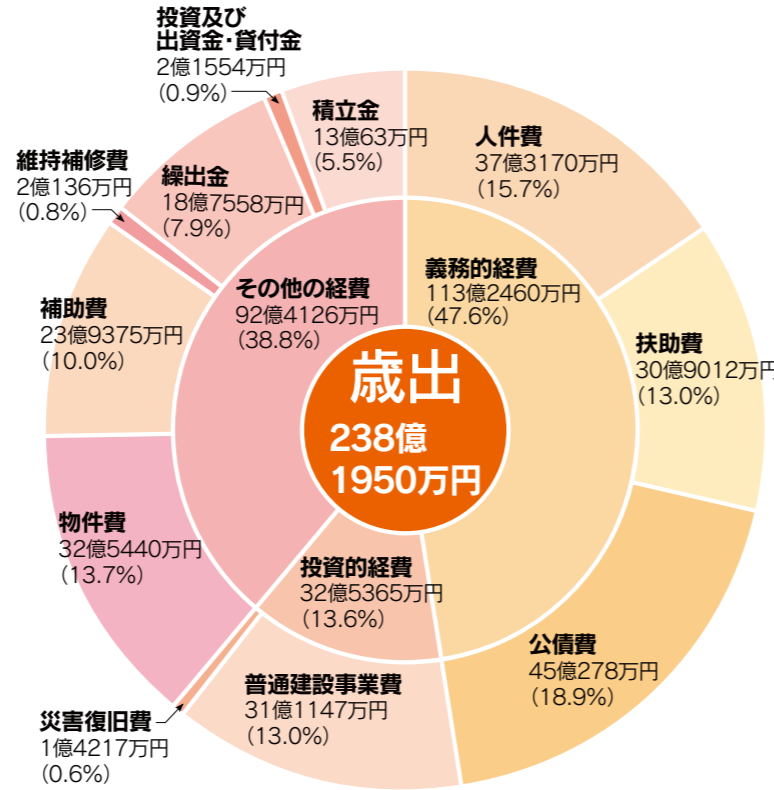


決算報告



平成29年度の主な事業

- 保健・衛生のために**
 - 育児用品購入費補助 1251 万円
 - 健康増進事業 2802 万円
 - 重度心身障害者等医療費助成 9463 万円
 - 子どもはぐくみ医療助成事業 5581 万円
- 生活向上のために**
 - 三好市本庁舎等整備事業 4540 万円
 - 生涯活躍のまちづくり事業補助 5417 万円
 - 交流拠点施設およびお試し住宅整備 1 億 8179 万円
 - ケーブルテレビ三好
 - 三野サブセンター機器整備事業 1 億 4668 万円
 - 公営住宅整備事業 2 億 8764 万円
- 産業振興のために**
 - 鳥獣害対策事業 4179 万円
 - ラフティング世界選手権実施 2 億 5727 万円
 - かずら橋周辺遊歩道整備 1760 万円
 - 落合古民家ステイ事業 3037 万円
- 防災対策・減災対策のために**
 - LED証明導入調査業務委託料 1188 万円
 - 耐震性貯水槽・防火水槽整備 2273 万円
 - 消防自動車購入事業 1989 万円
 - 公園整備事業 4735 万円
- 教育文化のために**
 - 池田中弓道場・武道場改修工事 3318 万円
 - かずら橋保存業務委託料 1772 万円
 - 阿佐家住宅保存修理事業 2073 万円
 - 伝統的建造物群保存修理修景補助 1229 万円



※ 端数処理により四捨五入しています。



平成29年度普通会計(注1)の歳入総額は約245億で、歳出総額は約238億となっており、差引は約7億円です。歳入のグラフを見ると、国や県などに依存している財源が78・1%を占めています。特に地方交付税は、歳入全体の50%近くを占めており、合併後15年間の優遇措置期間が終了する平成33年度以降のことは見据え、これまでも増して慎重な財政運営を行う必要があります。

(注1) 普通会計・・・福祉・教育・まちづくりなどに使うためのお金である一般会計と土地取得事業会計、給食事業会計を合わせたもの。

平成29年度決算における財政健全化比率及び資金不足比率について

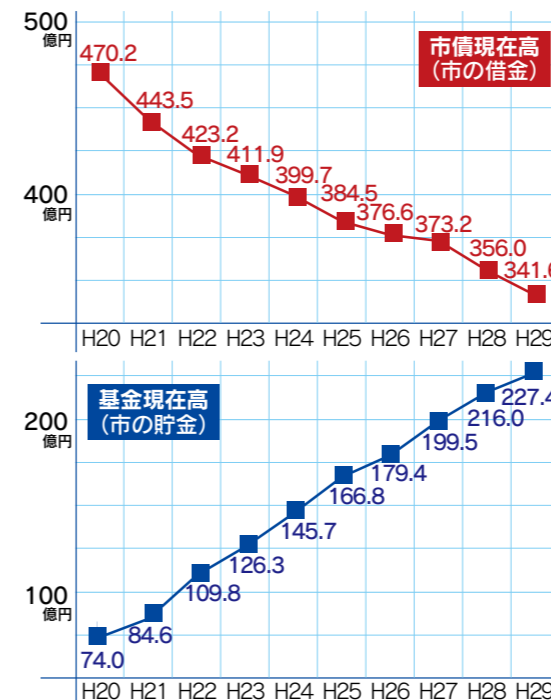
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

項目	★ = 三好市の数値	健全化段階	
		早期健全化段階	再生段階
① 実質赤字比率	★0%	12.82%~	20.0%~
② 連結実質赤字比率	★0%	17.82%~	30.0%~
③ 実質公債費比率	★6.8%	25.0%~	35.0%~
④ 将来負担比率	★0%	350%~	
⑤ 資金不足比率	★0%	20.0%~	

- ①実質赤字比率**...普通会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率。
- ②連結実質赤字比率**...全会計の赤字や黒字を合算し、自治体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率。
- ③実質公債費比率**...自治体の財布から借金返済にどれだけ充てられているかを示す比率。
- ④将来負担比率**...一般会計の借金や、将来支払っていく可能性のある債務などが、将来財政を圧迫する度合いを示す比率。
- ⑤資金不足比率**...各公営企業会計の資金不足を公営企業の事業規模と比較し、経営状況の深刻度を示す比率。



基金現在高と市債現在高の推移



各特別会計決算額

会計名	歳出決算額
井内財産区	101万円
国保(事業)	32億1455万円
国保(直診)	2億2255万円
後期高齢者医療	4億7294万円
特養長生園	4億2027万円
浄化槽事業	2億4082万円
農業集落排水事業	4315万円
簡易水道事業	7590万円
水道事業会計	12億8411万円
病院事業会計	10億4880万円

9月に開催された三好市議会定例会議において、平成29年度の一般会計および各特別会計の決算が認定されました。決算とは、1年間にどれだけの収入(歳入)と支出(歳出)があったのかをまとめたものです。今月号では私たちが納めた税金や地方交付税などの大切なお金がどのように使われたのか、現在の三好市の財政がどのような状況なのかを報告します。